

用途地域等の見直しを行います！

東京都では、平成13年10月、東京圏全体を視野に入れ、50年先を見据えつつ、2025年を目標時期として「東京都の新しい都市づくりビジョン」を策定しました。

この実現を図るため、国における都市再生に向けた動きとも連動しつつ、政策誘導型の都市づくりを進めていくために、「用途地域等に関する指定方針及び指定基準」を作成しました。

町田市では、都の原案作成依頼を受け、町田市基本構想や都市計画マスタープラン等を踏まえ、皆さんのご意見・ご要望を伺いながら、都の方針、基準をもとに、用途地域と区域区分(市街化区域と市街化調整区域)の町田市原案を作成し、都に提出する予定です。

町田市土地利用基本方針を策定

町田市では、用途地域等の見直しにあたって、少子・高齢社会や都心域への人口の回帰など、長期的な社会変化に対応した土地利用のあるべき姿について、検討していく必要があります。

平成14年3月町田市都市計画審議会に諮問を行い、同年11月の答申をもとに、「町田市土地利用基本方針」を策定しました。

なお、本方針は、用途地域等の見直しのほか、「町田市都市計画マスタープラン」等の見直しなどに活用していく予定です。

見直しの方針について

今回の見直しの方向性としては、今まで積み上げてきた町田市の魅力や蓄積を活かし、市民の生活の高質化につながる将来のあるべき土地利用の想定に照らして、現在、市内で起きている土地利用の動向への対応を中心に考えていきます。

一、視点

- (1) 町田市都市計画マスタープランの活用
- (2) 新たに考慮すべき事項
- 将来人口(今後の人口推移の見極め)
- 生活都市としての「高質化」
- 「高質化」とは、町田市の様々な既存の資源を生かしながら、生活都市として様々なライフスタイルに応じられる多様な選択枝を用意し、町田市での生活の魅力を高めていくことです。

二、方向性

主に以下に示す事項について検討していきます。

【用途地域】

(1) 用途地域等の見直しにあたっては、地域特性に応じた目指すべき市街地像を実現するため、必要な事項を地区計画に定めることを原則とします。

(2) 商業系を除く地域では、居住環境等の保全を図るため、絶対高さ等を定める高度地区を導入していきます。

(3) 居住環境や防災性の向上に配慮した、ゆとりある良好な低層住宅地を形成するため、敷地面積の最低限度・外壁の後退距離を指定していきます。

【区域区分(市街化区域と市街化調整区域)】

土地利用規制の根幹をなす区域区分は、長期的に人口が減少に向かうと想定されるため、大きな土地需要の増加が見込みにくい状況にあります。よって、原則として、区域区分は見直さない方向です。

問都市計画課 ☎724・2538

ご意見・ご要望は1月末日までにお寄せ下さい

今回の用途地域等の見直しについて、ご意見・ご要望のある方は、1月末日までに、その理由等を明記の上、都市計画課(〒194・8520、中町1・20・23)へ直接または、郵送でお申し出下さい。

今後のスケジュール(予定)

平成15年 1月	意見等の検討
2月	市素案作成
3月	市民説明会
5月	市原案作成
7月	都へ原案提出
8月	都素案作成
11月	素案縦覧
12月	公聴会
平成16年 5月	都都市計画審議会
6月	決定告示

知的障害者通所授産・更生施設

(仮称)花の郷の着工式が行われました

だれもが安心して住み続けられるまちに。

こんな願いを込めて、11月21日大蔵町で、「(仮称)花の郷」の着工式が行われました。市内では4番目の重い障がいのある方も通所できる施設となります。

市内には、重い障がいのある方の受け入れ施設として、中央地区にひかり療育園、南部地区にわかびだ療育園、西部地区に二丁スペース1・花の家が設置されています。

す。しかし「花の家」は常に満杯の状態にあります。

このような状況の中、東部地区に同様の施設を設置する必要性があることから、市では「重度化対策検討委員会」を設置し、その報告を受け、今回の着工に至ったのです。

(仮称)花の郷の施設概要は、設置場所が大蔵町360番地1外、建物は鉄筋コンクリート造2階建て、延べ床面積は1471.11平方メートル、施設種別は知的障害者通所授産施設及び知的障害者通所更生施設との合築施設で、定員はそれぞれ40人と20人です。

2004年4月開所を予定しており、整備・運営は社会福祉法人すみれ福祉会が行います。

市では今後も、重い障がいのある方も含めだれもが安心してこのまちで住み続けられる施策を展開していくことにしています。

青年海外協力隊に

玉川学園の高橋さんと南成瀬の渡辺さん



渡辺康一さん

青年海外協力隊第2次隊に玉川学園にお住まいの高橋美穂さんと南成瀬にお住まいの渡辺康一さんの派遣が決まり、研修終了後、12月1日にそれぞれ派遣先に向けて出発しました。

高橋さんは、大学在学中に応募し、ネパールで主に野菜、果樹など栽培技術指導などを行う予定です。渡辺さんは、市役所在職中の応募で、パラグアイで主に生活改善指導などを行う予定です。

出発に先立ち、市役所に市長を訪問した二人は寺田市長の激励を受け、高橋さんは「農業だけではなく他の分野でも貢献し、自分自身も何かを身につけてきたい」、渡辺さんは「現地の人々との交流の中で経験を積んで、帰国しても何かの形で還元をしていきたい」とそれぞれ抱負を語っていました。



高橋美穂さん

子どもマラソン大会

小学生971人が走りしました

第30回子どもマラソン大会が12月1日、野津田公園内の陸上競技場で行われました。今年はいにくの雨でしたが小学3年生から6年生の971人が元気よく走りましました。

上位入賞者(1位3位)は次のとおりです(敬称略、カッコ内は学校名)。

- 【3年生男子】2000位 太田映(忠生第三) 鈴木巨爾(藤の台) 野崎雄大(忠生第三)
- 【3年生女子】2000位 佐々木悠(小山田) 白井沙菜(本町田東) 佐藤祐美(小山)
- 【4年生男子】2000位 高橋祐貴(鶴川第一) 戸田慧(忠生第一) 黒川直道(金井)
- 【4年生女子】2000位 大川未季(忠生第三) 小林英未佳(南大谷) 清水麻未(町田第五)
- 【5年生男子】3000位 上保龍平(町田第五) 大迫傑



雨にも負けずみんな元気いっぱい走りしました(3年女子)

- (成瀬中央) 笠原万里亜(小山田)
- 【6年生男子】3000位 石阪傑(鶴川第一) 内田俊平(忠生第三) 佐々木悠樹(藤の台)
- 【6年生女子】2000位 (金井) 大塚慎也(南大谷)
- 【5年生女子】2000位 安藤弘佳(成瀬台) 上園望緒 日香(山崎) 佐藤しおり(鶴間)

平成14年度東京都中学生による薬物乱用防止標語部門

市立武蔵岡中3年・吉沢春香さんが最優秀賞に



吉沢春香さん

語」の選考会がこのほど行われ、標語部門で市立武蔵岡中学校3年・吉沢春香さんが応募した作品「持っていよう 薬物に対する自分の考え 断る勇気」が最優秀賞に選ばれました。

今回の募集に対し、東京都全体ではポスター3449点、標語1万1522点の応募がありました。この標語は東京都発行のリーフレット「健康に生きる」に掲載され、活用されています。また同時に、東京都薬物乱用防止推進町田地区協議会の街頭活動・キャンペーンなどの活動に対して厚生労働大臣感謝状が贈呈されました。

持っていよう

薬物に対する自分の考え 断る勇気

東京都薬物乱用防止推進協議会が募集した「平成14年度中学生による薬物乱用防止ポスター・標